

VDEC だより

2012年
1月15日
第11号

- ◆ 平成24年度チップ試作スケジュール
- ◆ 春のCAD講習会のお知らせ
- ◆ VDECデザイナーズフォーラムのお知らせ
- ◆ VDECデザインアワード募集のお知らせ
- ◆ VDEC D2Tシンポジウム2012を開催します
- ◆ 年度末のアンケート・レポート提出に関するお願い
- ◆ 2012年度CADツール利用登録について

VDEC からの大事なお知らせです。

同じ内容は
<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/Tayori/>
にも掲載されています。



◆平成24年度チップ試作スケジュール

<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/CHIP/ChipSchedule.html>

平成24年度のチップ試作スケジュールは以下のとおりとなっております。
長くご利用いただいております1.2umCMOSの代替プロセスに関しましては状況が明らかになり次第
アナウンスさせていただきます。試作申込、設計締切などぜひ計画的に期限を守って御活用いただきます
ようお願いいたします。なお、試作申込締切後でも試作枠に余裕があります場合には試作の追加申込みを
受け付ける場合もございますが、試作の運用上、申込期間中のお申込みにご協力いただきますようお願い
いたします。詳細・最新情報はVDECのWEBを参照ください。(池田 誠)

申込締切

設計締切

試作ラン

	2012/2/15	eShuttle65nm	平成24年2月シャトル
	2012/2/13	ローム 0.18um	平成23年度第5回
2012/2/15	2012/3/28	eShuttle65nm	平成24年4月シャトル
2012/3/5	2012/5/28	ローム0.18um	平成24年度第1回
2012/4/18	2012/5/30	eShuttle65nm	平成24年6月シャトル
2012/5/1	2012/7/23	ローム0.18um	平成24年度第2回
2012/6/13	2012/7/25	eShuttle65nm	平成24年8月シャトル
2012/6/18	2012/9/10	ローム0.18um	平成24年度第3回
2012/8/22	2012/10/3	eShuttle65nm	平成24年10月シャトル
2012/8/27	2012/11/19	ローム0.18um	平成24年度第4回
2012/10/17	2012/11/28	eShuttle65nm	平成24年11月シャトル
2012/11/19	2013/2/6	eShuttle65nm	平成25年2月シャトル
2012/12/26	2013/2/12	ローム0.18um	平成24年度第5回

◆春の CAD 講習会のお知らせ

<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/CAD/CADTraining.html>

今年も3月に入ってから春のCAD講習会を開催いたします。好評いただいておりますVDEC拠点校(北大・東北大・金沢大・東工大・名大・京大・阪大・広大・九大)へのストリーミング配信を今回も実施し、拠点校での受講が可能となっております。

講習内容は Cadence: Assura-DRC/ERC/LVS/QRC, SoC-Encounter、Synopsys: DesignCompiler+DFTCompiler, TCAD Basic, VCS+HSPICE cosim、Agilent: ADS を予定しております。

ぜひCAD講習会を有効にご活用いただき、設計力向上にご利用いただければ幸いです。(名倉 徹)

◆VDEC デザイナーズフォーラムのお知らせ

毎年好評をいただいているデザイナーズフォーラムですが、今年はSTARCと協力しながら「経産省次世代回路アーキテクチャ事業報告会」との連続開催をめざして準備しております。その関係で、開催時期も従来の5 or 6月から、8 or 9月頃へとシフトする予定です。

デザイナーズフォーラムの内容としましては昨年同様、VDECデザインアワード発表会、Ph.D企画セッションやショート講演などを予定しており、従来通りVDECユーザの交流に役立つ内容となる予定です。

詳細が決まりましたら改めてお知らせいたします。(名倉 徹)

VDECデザインアワード募集のお知らせ

<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/designAward/welcome.html>

昨年度から、VDEC デザインアワードを創設し、VDEC を通じて試作したチップの中から特に優秀なチップを選定して 1 年間に数件程度を「優秀賞」および「奨励賞」として表彰しております。

応募は主に指導教員による推薦とし、試作チップの技術内容を A4 1 ページ程度でまとめたものを提出いただきます。既発表/未発表は問いません。また、試作の時期も問いません。

VDEC 協力教員が選考委員となり、1 次審査として 5 件程度の候補を選択します。1 次選考通過者は 8 月頃開催予定のデザイナーズフォーラムにてプレゼンしていただき、フォーラム参加者全員および選考委員による重み付き投票によって優秀賞 1 件と奨励賞 4 件程度を決定し、フォーラム内で表彰いたします。

3 月末締切を予定しております。多数の応募をお待ちしております。(名倉 徹)

VDEC D2Tシンポジウム2012を開催します

<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/d2t/D2Tsymposium2012.html>

2012年2月10日(金)に東京大学武田ホールにおいて、D2Tシンポジウム2012を開催致します。

今回で6回目となるシンポジウム開催で、朝10時から夜の懇親会まで、招待講演、パネルディスカッションなどを中心に活発な議論を行えればと思いますので、皆様の御参加をお待ちしております。

LSIのテストに関連した半導体自動テスト装置(ATE)関連の講演に加えて、電子線露光装置を用いたリソグラフィ技術、MEMS応用などの講演を予定しています。

奮って御参加頂けますよう、よろしく御願いたします。(小松 聡)

CADツール利用状況アンケート・VDEC利用成果論文等の登録・チップ試作レポートに関するお願い

毎年度末、ユーザの皆様には、年報に掲載する論文リストや試作レポート、また、CADツールの利用状況アンケートのご提出をお願いしております。今年度も、2月6日に登録ページをオープンし、募集を開始させて

頂きます。ご提出頂いたデータは、VDECの活動に協力して頂いているチップメーカーやCADベンダに対する重要なフィードバックとなります。皆様のご協力をお願い申し上げます。(松本 剛史)

● 期間：2/6(月)～3/16(金)

登録ページ： CADツール利用状況アンケート <http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/cadenq.html>
VDEC関連論文リスト <http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/ronbun.html>
VDECチップ試作レポート <http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/nenpo.html>

2012年度CADツール利用登録について

2月20日(月)より、来年度のCADツール利用登録を開始致します。今年度の利用登録に関わらず、登録手続きが必要となりますので、下記ページより登録を

お願い致します。新年度の利用登録がされない場合、5月1日以降、CADツールの利用ができなくなりますので、ご注意ください。(松本 剛史)

登録ページ： <http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/CAD/announce.html>

<注意事項>

- ・詳細は、CADuser MLならびに上記ホームページにてご案内致します
- ・今年度CADツールをご利用の場合、「使用者リスト」のご提出が必要です
- ・新年度の利用登録には「覚書」の郵送も必要です(今年度の「使用者リスト」と同封可)

広島大学 吉田研究グループ

広島大学 大学院先端物質科学研究科 半導体集積科学専攻

<http://www.seis.hiroshima-u.ac.jp/>

先端集積システム工学研究室

<http://mmw.dsl.hiroshima-u.ac.jp/>

吉田研究グループでは、健康で安心・安全に生活するために必要になるQuality of Life(生活の質)を向上する医療・診断システムや、環境の情報を検出するセンサシステム等を実現するために、高精度CMOSアナログ回路やそれらを搭載したシステムLSIの研究を行なっています。ここ最近の研究では、大阪大学医学系研究科の脳神経外科学教室と東京大学情報理工学系研究科の鈴木研究室と連携して128ch入力を可能とする脳波検出システムを開発し、動物実験による評価なども行なっています。これらの研究を遂行するにはVDECで提供していただいているCADツールとチップ試作サービスが必須であり、VDECの関係者の方々にはいつも感謝しております。我々も微力ながら広大VDECサブセンターとして協力させていただいています。

現職に就いてまだ3ヶ月ですが、今後はとても元気な研究室の学生と、世の中に貢献できる研究成果を継続的に発信できればと思っています。(特に真面目な理系女子の活躍を期待しています。)



VDECスタッフより…

クリーンルームのミタです

昨年末、巷で同姓の家政婦さんがドラマで有名になりましたが、こちら生まれてこの方40年間三田姓を名乗り、しかも都営三田線沿線在住の「本家ミタ」でございます。フランス人の妻との間に二人の息子がおり、日仏バイリンガルのイクメン生活に勤しんでいます。

主な生息地は武田先端知ビルまわり、特に武田先端知スーパークリーンルームのVDEC全国公開装置が担当で、《家政婦》よろしく毎日東に西に走り回っています。お蔭様で武田SCRは発足以来8年間、ユーザ数が「年率10%」で増加中、2011年12月には486名を数えています。目玉の電子線描画装置(ADVANTEST F5112+VDO1)も延べライセンス保持者100名超、年間1500描画を超える利用をいただき、全国共同利用装置の面目を保っているところです。

5年前より文部科学省「ナノテクノロジー・ネットワーク」に東京大学拠点「超微細リソグラフィ・ナノ計測拠点」チームを組んで参画しており、これによって大学・

高専に加えてベンチャー企業等、大学内外からのアクセスが一層便利になりました。

元々マイクロマシン(MEMS)プロセス・デバイス分野を専門にしており、現在ではVDECのプロジェクトとして、集積化MEMS用ファウンドリメニューの開拓を行いながら、MEMS加工技術を応用したVLSIの高機能化といった分野に挑戦中です。常に新しい分野に向けて成長するVDECを、よろしく願います。(三田 吉郎)



エアシャワー室(本当はマスクをして入室します)